

No.2422 若狭 今古川～雲谷山 沢登り

日時：2014年7月13日（日）曇り時々雨

参加者：鳴原(L)・小俣(記)

山行直前まで台風の心配があり中止の話聞いていたが、まずは帰阪したので、鳴原Lに連絡をとったところ、日曜なら何とか行けるのではとなり、早朝発で若狭へ出発。やはり梅雨時の台風後にて天気は安定せず、出だしから雨模様・・・降ったり止んだりの中「どうせ沢で濡れるから」と出発。

R27の北前川の交差点を入り、斎場の駐車場に止めさせていただき(7:25)、今古川林道を辿る。林道終点は巨大な堰堤。何の疑いも持たず、堰堤左岸の階段を登り堰堤上に出るもそこは行き止まり。「そういえば、写真を撮っている時追い抜いて行った2人組全然見当たらない。こっちじゃない！下りるしかないか～」戻ると右岸斜面に階段付きの登山道あり8:10。登山道で堰堤湖を巻き、沢音が聞こえてきた辺りから強引に下り沢に出る8:30。

遡行図の1本目の枝沢の入る2段8mの滝下に下り着いたようである。そこから次から次へと現れる小滝を越えて行く。どの滝も軽快に登れ楽しい！！1つ目の二俣をうっかり滝登りをしてしまい左に這入ってしまう。間違いに気づき直ぐに右の本流へ戻る9:00。その後もまだまだ続く登れる滝のオンパレード。しかし



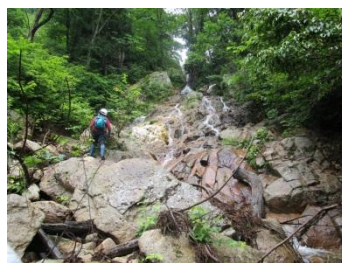
(2条9mの滝)

小雨になり、唯さえ多い水量が増え2段15mのナイアガラ風の滝は押し戻されそうな水量である。

小俣はとても登れるとは思えず巻きを探す。鳴原L果敢にトライ、何度も押し戻されながらも終に登りきる。見ている方はハラハラものでし



(15mのナメ滝)



(18mのナメ滝)

た。小俣は右から小さく巻く。次に現れた裏見の滝は水量多く2条が一つになり登るのは諦め右から大きく巻く。すぐ上の2条9m吹き出しの滝も巻いてしまった。残念！しばらく平凡になりインゼルを超えると炭焼き窯跡に着く。滝で出会う二俣10:25を右俣にとると、ナメとなる。また滝が現れ水量も衰えず、「まあ～これだけ滝があるものだ」と感心する。ようやく源流っぽくなったところで突然林道に飛び出す11:20。古い遡行図に林道の記載は無く、2万5千地図も持って行かなかった為、沢を詰めず林道を歩いてしまった。林道は行き止まりとなり踏み跡を登山道に続く道かと思ひ辿るも、やがて藪漕ぎとなり雲谷山を目指し高い方へと歩き続ける。12:00登山道に合流、12:10雲谷山頂上～30。三方石観音への登山道を下り、展望台から三方五湖を眺めながら観音堂に着く14:00。

林道を歩かず最後まで沢を詰め、斜面を上り詰めると雲谷山頂上直下に出るのが正しいルートでした。沢は登れる滝ばかりでとても楽しいので、再度計画したいとのリーダーの話がありました。平水なら全て直登できますので、ふるって参加ください。



(雲谷山山頂三角)



(三方観音)